

# 駅前市役所案が出された経過

新市役所には、図書館等の機能を入れて!!

平成12年に再開発を進めるために打ち出した方針。当時の市議会でも積極推進の声が高く、平成12年6月議会での陳情「リース庁舎をやめ、『ジャンメ跡地』に市役所を建設することを求める陳情」の採決でもそれが明らかに。

◎反対 ▶ 16      ◎賛成 ▶ 7

## 小金井市の方針

- ◆豊かな緑のネットワークと都市景観に優れた小金井市の「顔」づくり
- ◆中心市街地の活性化
- ◆シビックセンターの機能の強化（新たな市民サービス機能の導入も）
- ◆業務・研究・教育系の施設間のネットワークの形成
- ◆少子高齢社会に対応するさまざまな機能の導入
- ◆都市環境・都市防災に配慮した快適で良好な都市型居住空間の提供

92億円の財源内訳は、  
資産活用60億円、  
新たに32億円（当時の試算）

リース庁舎の  
早期解消になることが  
期待された。

しかし、議会の再開発反対の動きで予算が通らず、数年の遅れにつながり、結局リース庁舎は契約延伸に。

## 蛇の目跡地に建設すると

蛇の目跡地庁舎の値段は？

**160億円以上!?**

（土地代 ……119億円）  
+  
（建築費 40～45億円）

しかも平成23年まで毎年3億5千万円～3億8千万円を歳出。建築費の半分は自己資金として用意しなければならないので、その資金の用意に5～6年はかかると予想される。平成30年までは着手できないのでは。

## 駅前建設 小金井市案のメリット

- 早期に建設可能 — リース庁舎の早期解消。
- 市民要望実現の可能性 — 市民要望第一位の図書館との併設可能。高齢者の生活調査によると、「身近なところや便利なところに活動の場がほしい」が一番多い。
- 防犯上の利点 — 駅前の風俗の乱れを防げる。顔の見える市民が常に行き来することが最大の防犯対策。更に図書館を入れると半径50m以内に風俗店ができない。
- 税収効果 — 蛇の目跡地を売却したあとの税収増が見込まれる。
- 災害への備えが可能に。 — 現在の市役所では災害対策本部の設置場所が貧弱。
- 将来への備え — 今は現実的ではないが、将来合併の話が出たときには、転用範囲が広く選択肢が広がる。

土地の価格を時価に換算するなどして、条件を同じにして比較すると、駅前市役所と蛇の目跡地での市役所建設は、約90億円とほとんど同じです。そうだとすると、単に市役所だけを建てて、あらたに積み立てから始める図書館建設と、同時にできる方法とどちらが良いと思いますか？

厳しい時代が予想されます。市役所だけのことを考えていてよいのでしょうか？街づくりと公共サービスを一緒に解決しませんか。

小金井で元気に！小金井を元気に！

**五十嵐京子**

通信  
第30号

2009年1月25日発行

五十嵐京子を支援する会

小金井市本町3-8-9-312

電話 042-384-9920